

かしそく新聞

～訪問診療 編～

通院困難な方を診察します。



◎医師、看護師が定期的に訪問し、また、各種サービスとの連携を図り、みなさまの住みなれた地域での生活をサポートいたします。
まずはお電話でご相談ください！

駒形理事長回想紀行 「人間回復の橋」を知っていますか？②

▽昭和53年当時の研修記録をもとに記憶をたどってみます。愛生園に到着後に、本邦におけるハンセン病の歴史と療養所の果たした役割に関して説明を受け、最後に同施設の原田先生の講義を受けました。ハンセン病は容姿の変形を伴うためか、天刑病であるという誤った考え方方が存在することをみても、古今東西を問わず、大変な偏見と迫害を強いられた歴史をもっていたことを改めて認識させられました。▽古くは聖書にハンセン病と推測される人の記述があり、映画「ベンハー」でもこの史実は描かれています。後日になって教えてもらったことですが、邦画「もののけ姫」にも、隔離された作業場で仕事をしているハンセン病と思われる人たちが描かれております。事実、宮崎駿監督は自宅近くの多磨全生園を何度も訪問して影響を受けていたといわれております。▽前述した「砂の器」の中でも、我が国におけるハンセン病の惨状が描かれております。明治40年旧法成立から90年を経て、ようやく平成8年3月31日「らい予防法」は廃止されました。偏見や差別を伴う「らい病」は、ハンセン病と呼び名を変えましたが、現状は変わっているのでしょうか。▽有効な治療薬が開発されて以来、治療可能な病気となったにも関わらず、療養所から社会復帰していく人は少なく、このことは結核の場合に比して対照的です。（次号『かしそく新聞』第4号「駒形理事長回想紀行」に続く…）

かつしか心身総合クリニック

編集後記～スタッフのつぶやき～

心が変われば「態度」が変わる。態度が変われば「行動」が変わる。行動が変われば「習慣」が変わる。習慣が変われば「人格」が変わる。人格が変われば「運命」が変わる。運命が変われば「人生」が変わる。▽これは元プロ野球選手で監督としても有名だった、故野村克也氏の言葉です。うまくいかないときや自分自身が嫌になったときには、いつもこの格言を思い出します。とはいって、私の人生は変わりようがない非常に平坦なものですが…(笑)。(K)

医療財団法人ファミーユ

かつしか心身総合クリニック

〒125-0041 葛飾区東金町1-41-1 桜井ビル2階

①外来：心療内科=大川院長、永井医師(非常勤)

内科=駒形清則医師

②訪問診療

内科=駒形清則医師、成相医師

駒形明紀医師(非常勤)

精神科=米谷医師(非常勤)

神経内科=今井医師(非常勤)

*詳しくはホームページをご覧いただき、お電話にてお問い合わせ下さい。

TEL 03-3627-0233